

2学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年 第11号 通算75号

2016.5.19 (木) 発行

クラス詳解「2年1組」

文責 M. G



学年主任の横山先生から依頼された「クラス紹介」を、どのクラスよりも早く我ら「理数科」がリリースしました。我々のクラス目標の1つは「タイムリーでナイスなリアクション」です。タイムリーさでは、じっちゃんの名に賭けて普通科に負けるわけにはいきません (by コナン)。我々の担任の先生は、アマゾン川に生息する巨大ナマズのような「驚異の胴囲長1mオーバー」を持つ「イニシャルD」先生です。まずはDスケ先生の生態を紹介します。

- 好きな食べ物 : マックのフライドポテト
- 好きな飲み物 : マックのコーラ
- 好きなごはん : かつ亭のカツ丼
- 好きな牛丼 : 吉野家の牛丼 でもよく行くのはすき屋
- 好きなコンビニ : 昼はセブン、夜がファミマ
- 好きな麺類 : ラーメン 実はボソボソした田舎そばも好き
- 好きなマンガ : ワンピース
- 好きな色 : 黒
- 好きな女性のタイプ : ちょっと背が高くメガネをかけている歴女



特技は、イロモノ牛丼をオカズに普通の牛丼を食べることや、朝食から牛丼とうな丼を食べること、朝食を3回食べること、ビッキ石の傾奇者カレーを完食すること、などなど食べることでばかりです。このままのペースで食べ続けるとDスケ先生の健康が心配です。ですから、ぜひ先生の健康管理をしてくれる女性を探して結婚して下さい。世界に1人位はそんな奇特な方がいるはずです。そして、結婚式には我々42人を招待して下さい。絶対盛り上げマス！



クラス全員が各々書いたイラストだそうです。本当、仲のイイ42+1人ですね！

山形新聞紙上の「米興生」紹介

4月30日からシリーズで、インターネットについて米興3年生の文章が掲載されました。2年生諸君の先輩の意見であると同時に、ネットについては「今」誰もが考えなくてはならない大きな存在となりました。この問題について、他者の考えを聞き、自分の意見を持つことが必要だと思い掲載しました。中間考査の学びのかたわらに、じっくり考えてみて下さい。

「インターネットの主体的な利用のために」

IT技術が進化し続けている現在。それに伴って変化し続けている社会。インターネットと上手に付き合っていくことは、今を生きていく上で必要不可欠なことです。同時に、インターネットを使うことは、多くの危険を併せ持ちます。

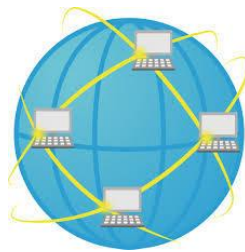
インターネット上のトラブルは、大人だけでなく、高校生、中学生、小学生、だれにでも起こりうる問題となっています。私も、多くの危険が潜んでいるこの現状に恐怖や不安を抱えています。

私自身そうであるように、多くの学生は、小学校から現在に至るまで、インターネットやスマホの利用に関する授業や講演を数多く聞いていると思います。しかし、インターネット上のトラブルは減るどころか、増えるばかりであるように感じます。私は「なぜ、話を聞く機会は増えているのに、この状況は一向に変わらないのだろうか」と疑問に思いました。そこで、私はインターネット利用のモラル向上のために、小・中・高校生を対象に、授業で「インターネットの危険性と活用」について、生徒どうしでディベートをする機会を設ければよいと考えました。講演は多くの場合、一方的に話を聞くだけですが、ディベートは私たち自身の主体的な活動です。自分の考えを話すことでさらに考えが深まったり、相手の考えを聞くことで自分の価値観が変化したりします。その経験は確実に行動へ反映されると思います。

また、インターネット利用のモラル向上で一番大切なのは、親子の会話だと思います。個人情報の扱い方や著作権の確認、利用時間やアプリを使う際のルールを約束するなど、親子の間でしっかりコミュニケーションをとることが一番効果的なトラブル防止対策だと思います。

私は、学生時代にインターネットをどう利用するかで、この先の将来がプラスの方向にもマイナスの方向にも変わっていきってしまうと感じています。目の前にいる人とのつながりを大切にしながら、インターネットを上手に活用していきたいです。

3年2組 E. H



「インターネットとネットモラルについて」

3年4組 H. K

現在日本では非常に多くのスマートフォンを始めとする情報端末が普及しています。しかし、それに伴いインターネット上での暴走行為が目立つようになってきました。言い換えれば、ネット上で自分を「確立」できない人が増えてきたように思えます。

例を挙げると、犯罪行為をツイッター等のSNSに投稿して優越感に浸ったり、著名人に対して殺害予告をしたりするなど数多くあります。なぜ人々はこのような行為に走ってしまうの

でしょうか。僕が考えるに、インターネットの利便性、さらに実際に声に出すこともなく自分の意見を発信できるため抵抗が減ってしまうためだと思います。いくら眼前に誰もいなくとも、発信先は世界全体なので、公の前で話すことと変わりありません。

他にも中高生が、LINE等のフリートークアプリで友人とトラブルを起こすケースが増えているといえます。僕もスマホを持ちLINEをしています。正直に言うと僕はLINEが苦手です。早く短く文字を打てるため、文字列が「無機質」に見えてしまい、思いが上手く伝わらないように思います。さらに相手がどんな顔をしているのかわかりません。そこから相手に誤解を与えてしまい、そこからLINEでのいじめに発展していく可能性があります。もしそうってしまった場合、多くの人では現実では打ち明けることが出来ないと思います。勿論本人達が軽率な言動をしないように留意することも重要ですが、そこ

で如何に周りの友人、保護者などが早く気付くかどうか重要だと思います。

あくまでインターネットは「ツール」です。その道具を用いて規則を守りながら生活していくことは至極当たり前のことです。これからも注意して上手にインターネットと付き合っていきたいです。



私の嫌いな風景

職員 横山伸一

- その1 お互いのスマホを見ながら食事が来るのを待っている2人。恋人同士ならなおのこと。
- その2 話をしている最中に相手がスマホをチラッと見る（たび泣きそうな気持ちになる？）。
- その3 ゲームをしながら「何だこりゃ」とか「やったぜー」と1人で絶叫する。
- その4 車を待つ間、エントランスでスマホを見ながらニヤニヤしている。
- その5 車の後部座席にスマホを見ながら無言で座る。
- その6 車から降りるとき「ありがとう」の一言も言わないで無言とドアを閉める。

